

平成19年度 国土交通省事業

テレワークセンター実証実験 概要

2008. 2

国土交通省

テレワークセンター 実証実験の概要

実証実験の目的

1. テレワークセンター設置に適する立地や周辺環境を確認する
2. テレワークセンターに必要な執務環境を把握する
(3タイプのワークスペースを試行)
3. テレワークセンターに必要な情報インフラや情報機器を把握する
4. テレワークセンター利用者の利用実態や課題を把握する

実証実験の立地

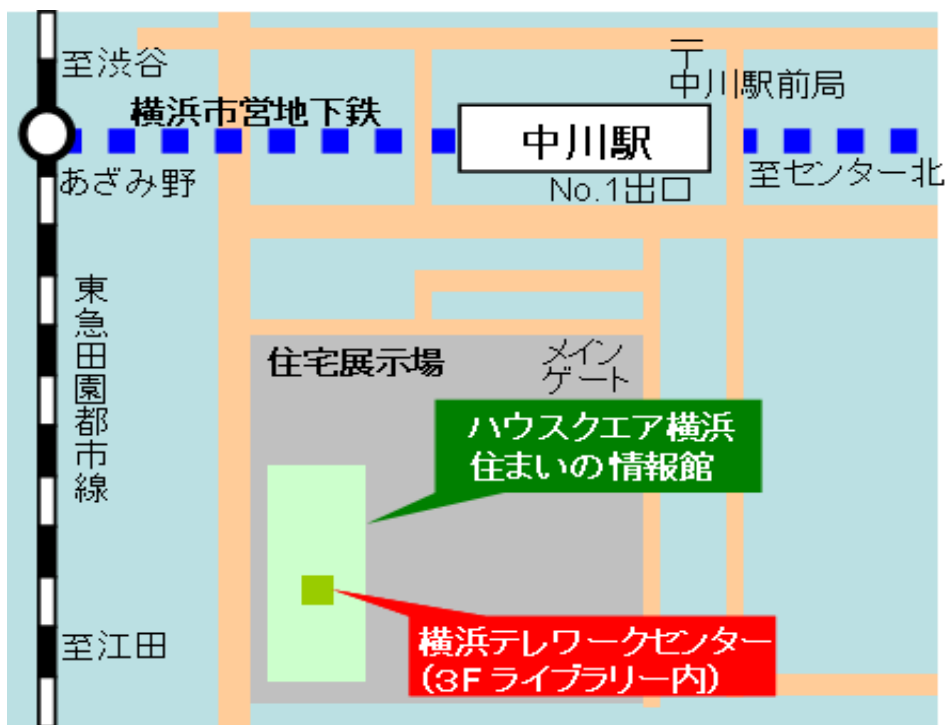
- 東京圏の郊外部： 都心まで概ね1時間程度
- 便利な場所：
 - 鉄道沿線
 - 最寄駅からの距離
- 設置施設：
 - 相乗効果
 - 地元との協力

東京圏の2箇所を
選択



横浜TWCの設置場所

- ・ ハウスクエア横浜 住まいの情報館
3Fライブラリー内



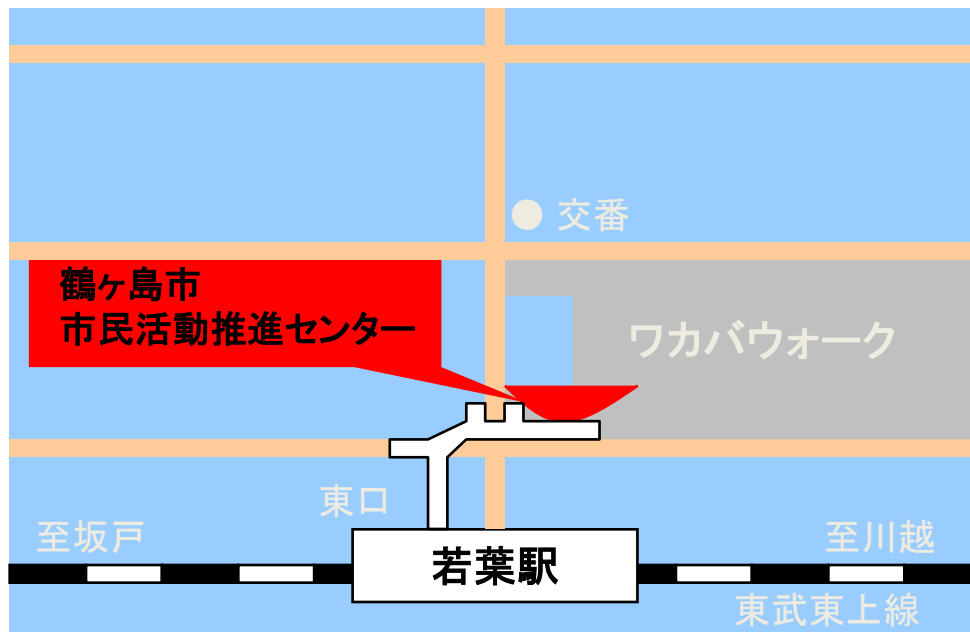
- ・ ショールームやリフォーム店
- ・ 屋外には最新のモデルハウス
- ・ ライブラリーには住宅関係図書が集積

横浜テレワークセンターの設備



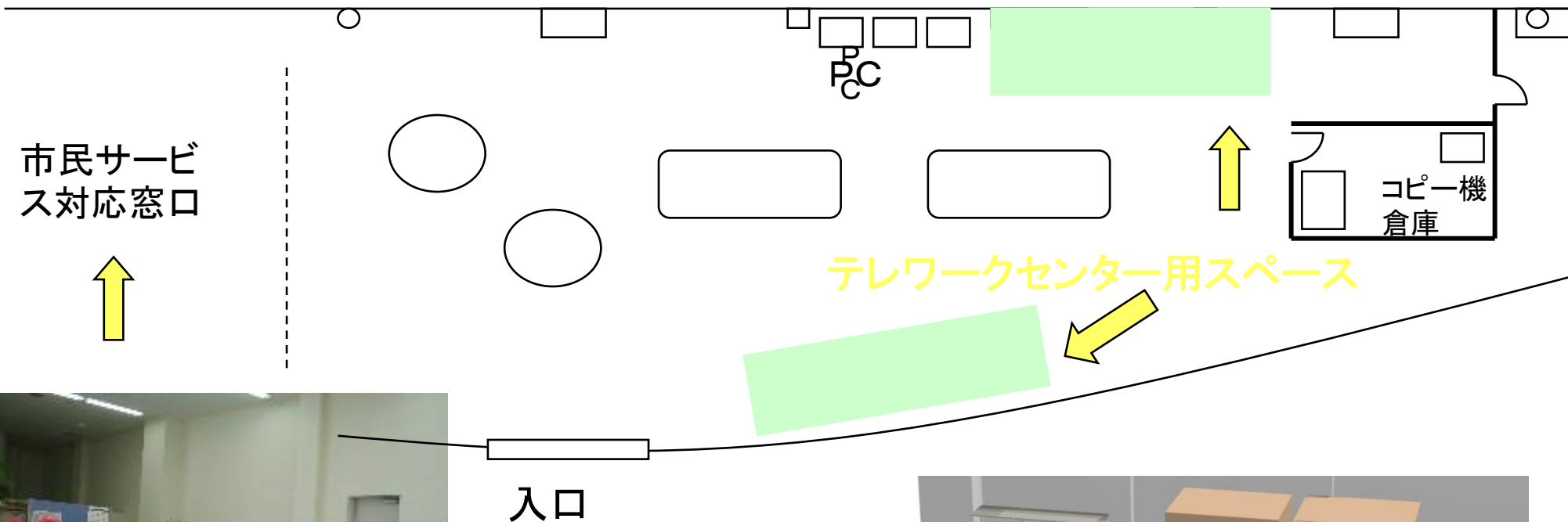
鶴ヶ島TWCの設置場所

- ・ 鶴ヶ島 市民活動推進センター内



- ・ 東武東上線 若葉駅前
- ・ 市民活動に関する情報提供、会合の場
- ・ 住民票交付などの市民サービス提供

鶴ヶ島 市民活動推進センター



利用者と利用条件(1/2)






	横浜TWC	鶴ヶ島TWC
開館日・ 開館時間	月～金: 9時～20時 土: 9時～17時 日曜・祝日: 休館	毎日: 9時～21時
運営者	・管理: 日本テレワーク協会 (受付・応対には地元の主婦層を活用)	
機能	・高速インターネット回線 ・オフィス空間 ・有料コピー機、ロッカー等 ・座席の事前予約	

利用者と利用条件(2/2)

- 横浜TWCと鶴ヶ島TWCの主な利用対象者を変えて実証実験を実施
- 横浜TWCでは日本テレワーク協会の会員企業を中心に広報
- 鶴ヶ島TWCでは市の広報誌などでも紹介

	横浜TWC	鶴ヶ島TWC
主な利用者	企業等の団体の従業員	団体従業員のほか、自営業・個人も可能
利用条件	<ul style="list-style-type: none">・実験につき無料・PCは原則、利用者が持参・就業目的でのみ利用、打合せ等は不可等 利用条件に従うこと・アンケート調査に協力すること	

実証実験スケジュール

平成19年度	8	9	10	11	12	1	2	3
デザイン 設置								
参加者募集								
運用								
報告								

運用期間: 横浜TWC 10月9日～1月31日
 鶴ヶ島TWC 10月16日～1月31日

テレワークセンターの 利用実態

テレワークセンターの利用団体

- 利用業種は、サービスと電気通信機器製造業が中心
 - 利用者数拡大のためには、各団体内での広報促進が課題
- 31団体（団体として参加申込み）

業種	団体数
電気通信機器製造	6
その他製造	3
通信	1
金融・保険	1
サービス	20

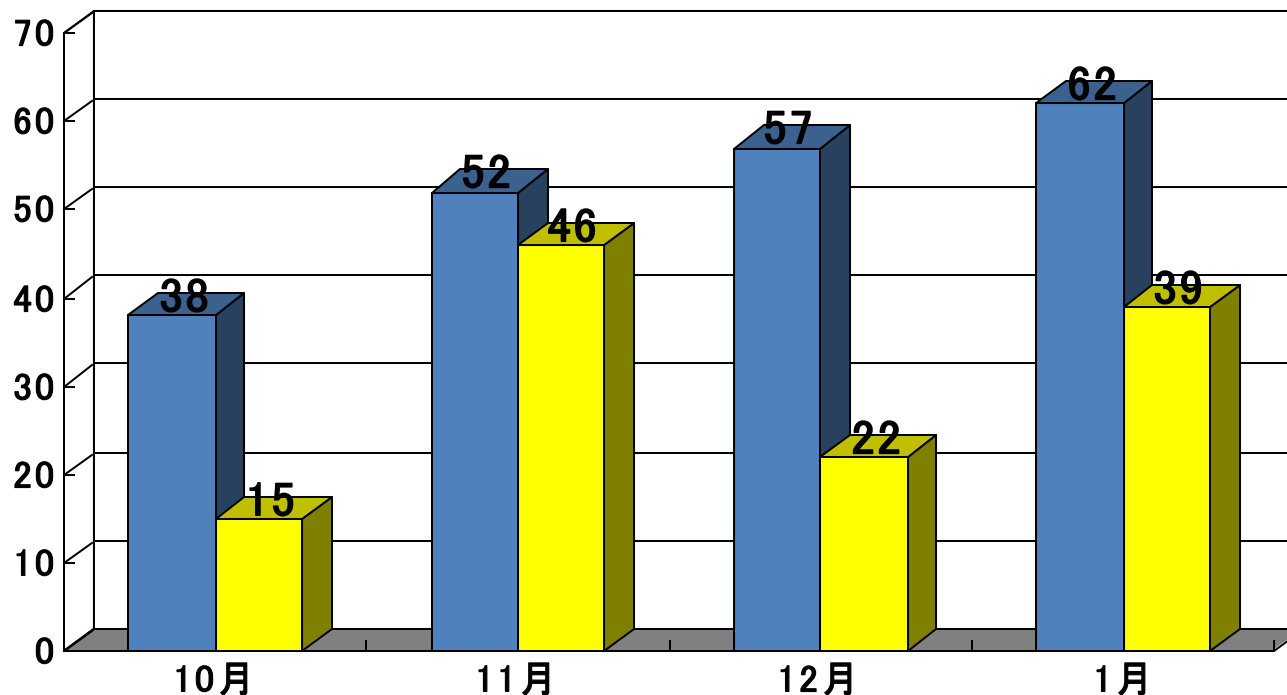
月間利用状況

- 利用者数は、実証実験期間中、増加傾向であった。

横浜TWC: 2007.10.9 ~ 2008.1.31

鶴ヶ島TWC: 2007.10.15 ~ 2008.1.31

(人)



■ 横浜 ■ 鶴ヶ島

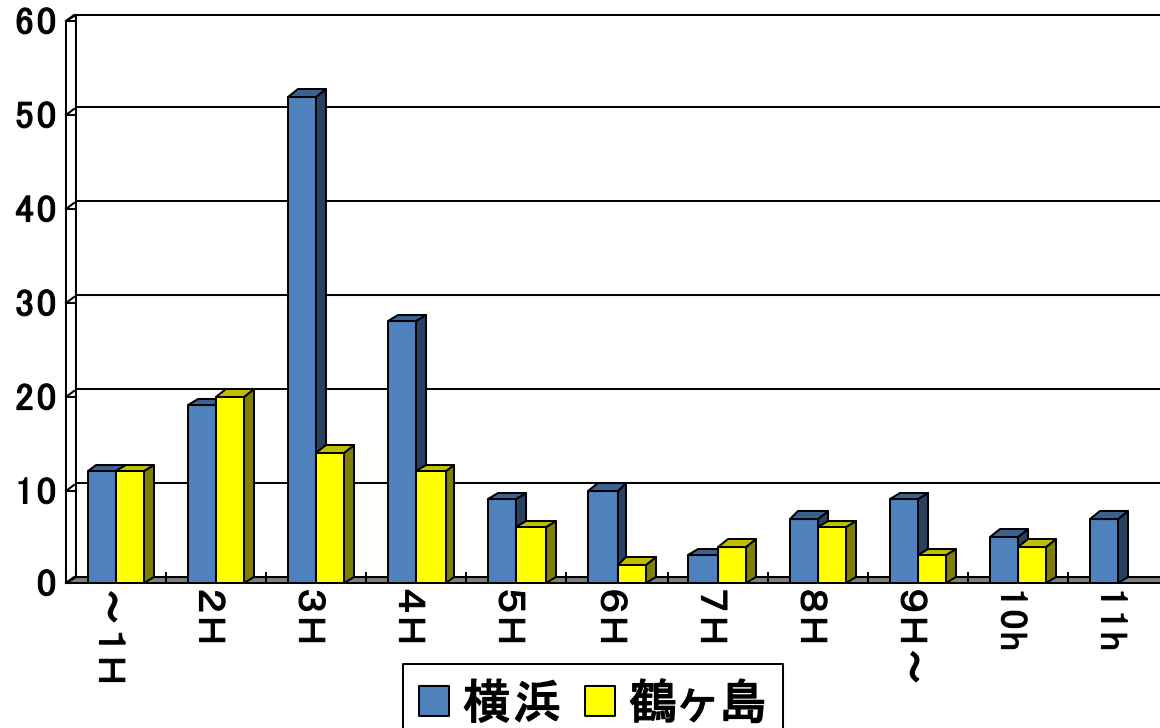
テレワークセンター管理者の利用を含む

利用時間数

- 利用時間は横浜TWCも鶴ヶ島TWCも平均約4時間と半日程度の利用が多かった。

加重平均 横浜 3.6時間 (n=161)
鶴ヶ島 4.0時間 (n=103)

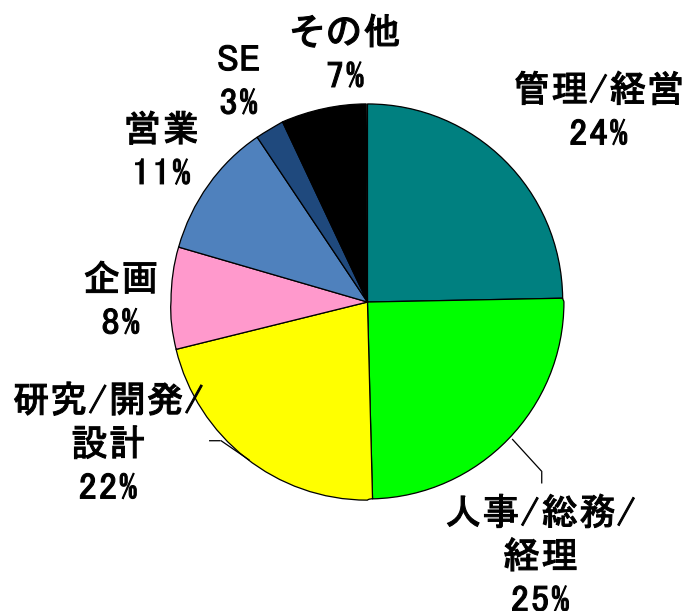
(人)



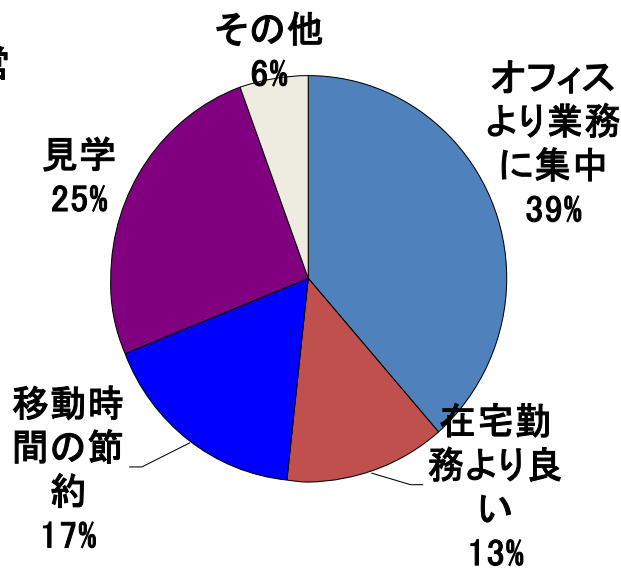
利用者と利用目的（横浜）

- 管理・経営や人事・総務・経理、企画などスタッフ職の利用が57%と多い。
- 利用目的は「オフィスより業務に集中して仕事ができる」が最も多い。
- 企画書や資料収集、原稿作成など集中力を要する業務中心。

職種



目的



重複回答〔人〕

作業内容

企画書報告書

65

資料収集

56

原稿論文

32

データ入力

19

連絡

19

日報月報

12

ソフト設計

1

その他

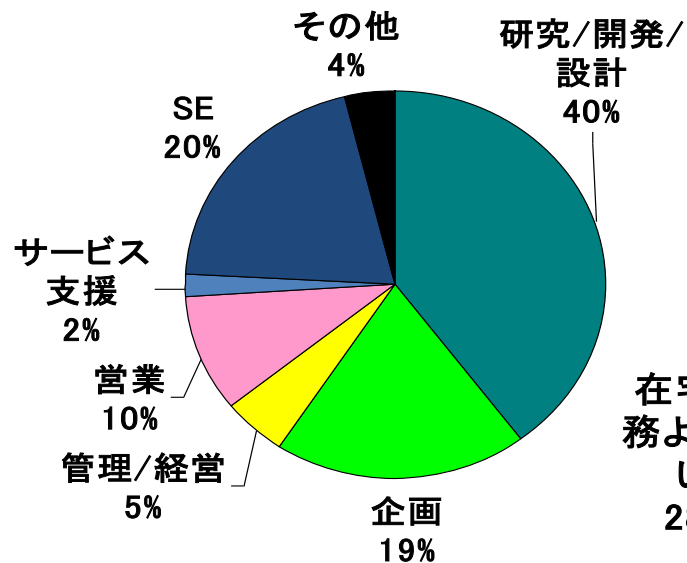
28

0 20 40 60 80
n=161

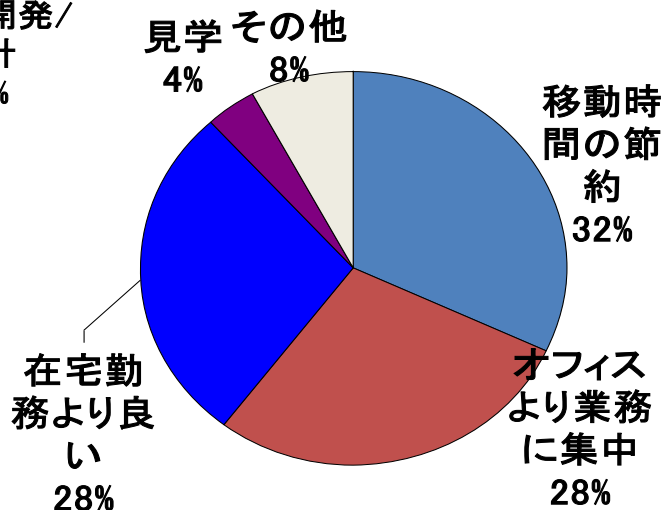
利用者と利用目的（鶴ヶ島）

- 研究開発やSE、営業など外勤の多い職種利用が70%と多い。
- 利用目的のトップは移動時間の節約だった。
- 横浜同様、企画書や資料収集、原稿作成など集中力を要する業務中心。

職種



目的



重複回答〔人〕

企画書・報告書

資料収集

原稿論文

データ入力

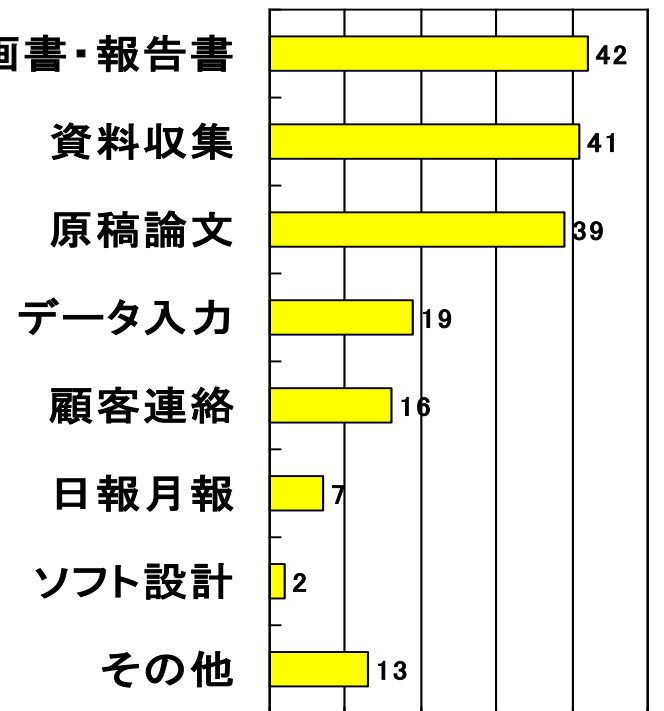
顧客連絡

日報月報

ソフト設計

その他

作業内容

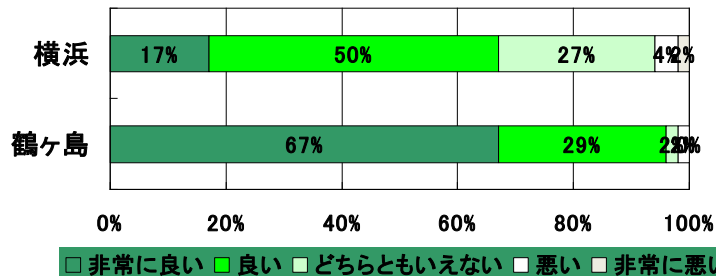


n=103

0 10 20 30 40 50

立地条件

- 立地に関する評価は、「非常に良い」と「良い」を合わせると、横浜TWCが67%、鶴ヶ島TWCが96%で鶴ヶ島が高かった。
- 自由意見で、横浜TWCでは、駅からのわかりにくさ、駅からの時間や主要駅でないことへの課題の指摘があった。



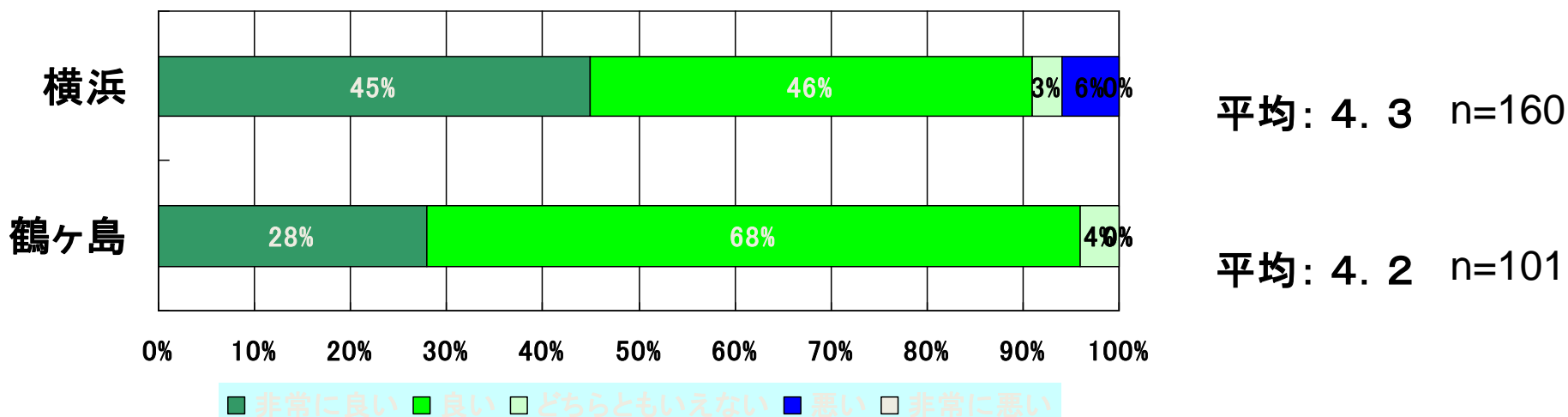
平均：3.8 n=102

平均：4.6 n=161

- (横浜)** ・駅からセンターまでの道順がわかりにくい。・駅から5分以内は必須。
・自宅の近くかターミナル駅がいい。・横浜駅近くなど主要な駅付近にあるといい。
・地下鉄沿線での移動時にはいい。渋谷から横浜途中に利用。・周辺環境は良い。
・帰り際に買い物ができる場所がいい。・隣接するライブラリーとのシナジーに期待。
- (鶴ヶ島)** ・駅前で便利。・ショッピングモール内のレストランやカフェが利用できるのので息抜きできる。・帰りにショッピングができてよい。

ワークスペース(1/2)

- 「非常に良い」と「良い」を合わせると、横浜TWCが91%、鶴ヶ島TWCが96%でどちらも評価が高かった。
- 自由意見で、鍵のかかる個室や画面を覗かれないレイアウトなど物理的セキュリティが必要であるとの意見が複数あった。

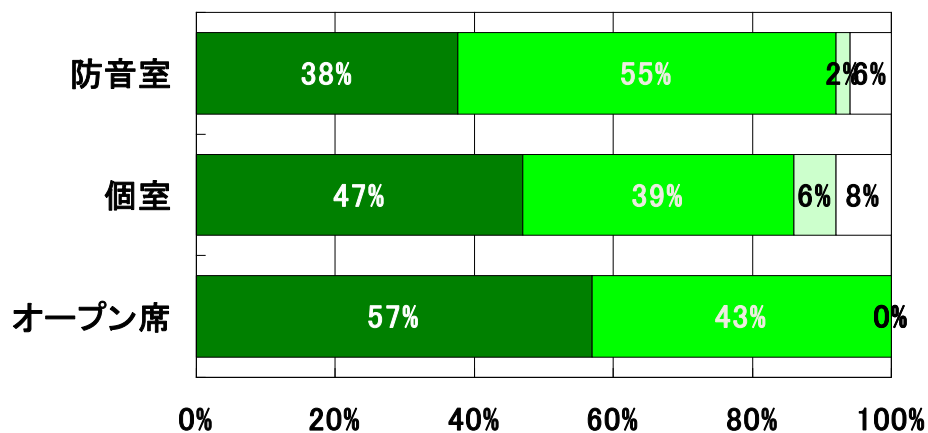


- ・個室の鍵。(防音個室の鍵など) ・PC盗難防止用のチェーン、ワイヤーロック穴
- ・背後からの覗き見対策を(背後のガラス窓やドアのスリット、机椅子の位置の変更、くもりガラスに) ・椅子の座り心地が良い ・防音室以外でも電話できるといい。
- ・電源コンセントの位置 ・コンセント口数は2つ以上必要
- ・ものが置ける棚、鍵付きロッカー、ハンガー ・机のまわりがあっさりしすぎ
- ・防音室内が暑い。(横浜) ・個室は空調がききすぎて寒い。

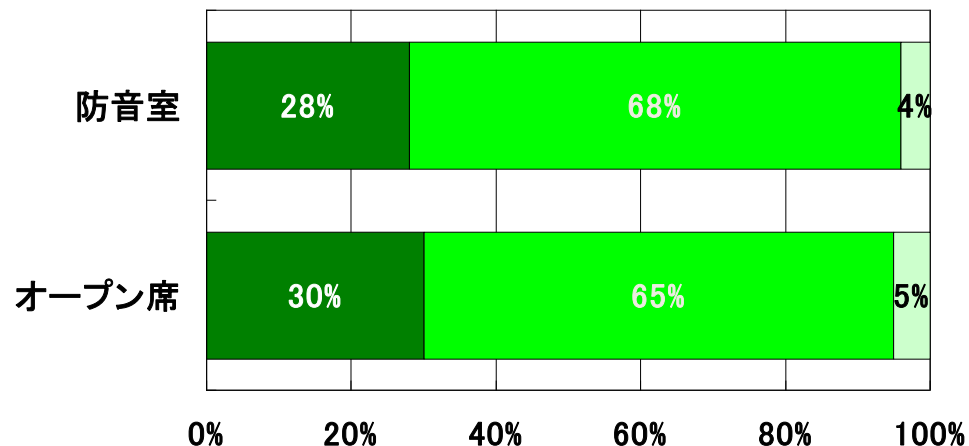
ワークスペース(2/2)

- 横浜TWCのブースの評価を、「非常に良い」と「良い」の合計で見ると、オープン席、防音室、個室の順であったが、自由意見では鍵のかかるブース(個室は鍵がかかる)への要望は高かった。
- 鶴ヶ島TWCのブースの評価を、「非常に良い」と「良い」の合計で見ると、オープン席も防音室もほとんど差がなかった。

横浜TWC



鶴ヶ島TWC



■ 非常に良い ■ 良い □ どちらともいえない □ 非常に悪い

n=160

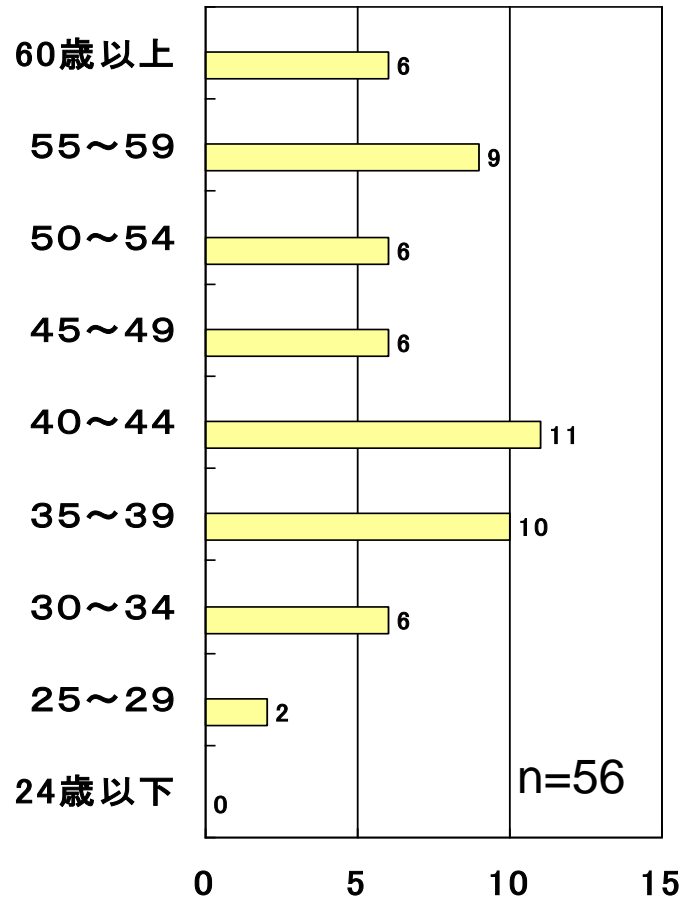
■ 非常に良い ■ 良い □ どちらともいえない

n=97

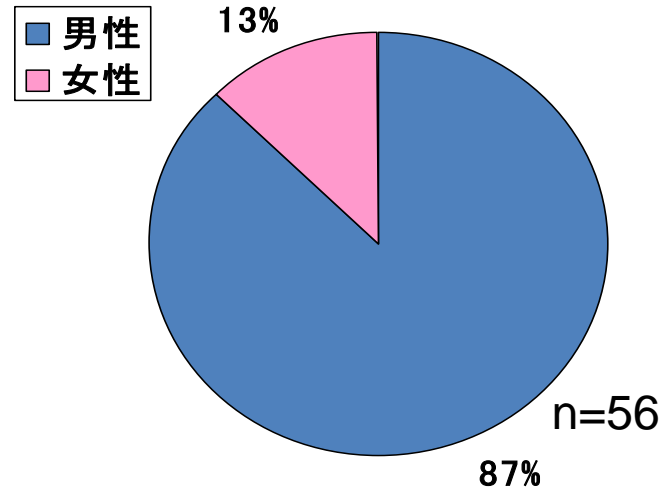
実証実験終了後の アンケート調査での確認事項

回答者の属性

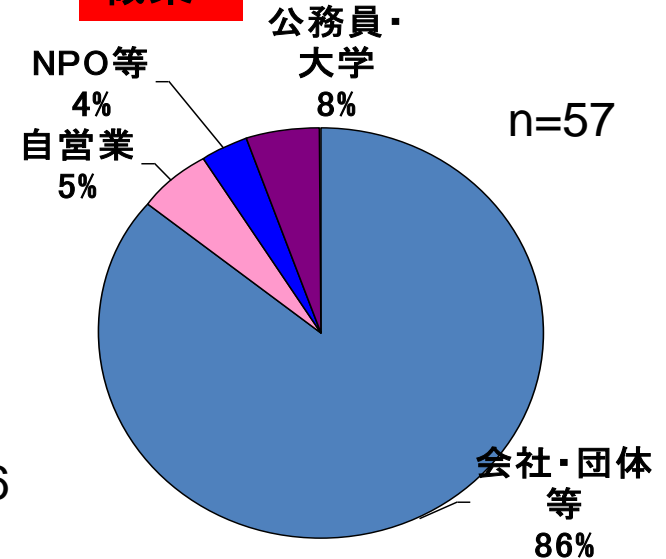
年齢



性別



職業



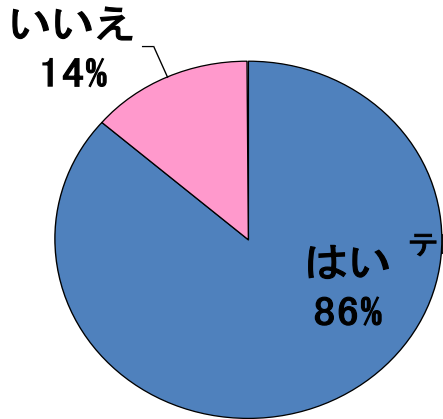
■ 自宅から所属するオフィスまでの片道通勤時間
平均： 56.3 分 （0分の2名を除くと58.4分）

■ （自宅やオフィス等から実験施設までの片道時間
平均： 50.7分

勤務先におけるテレワークの扱い

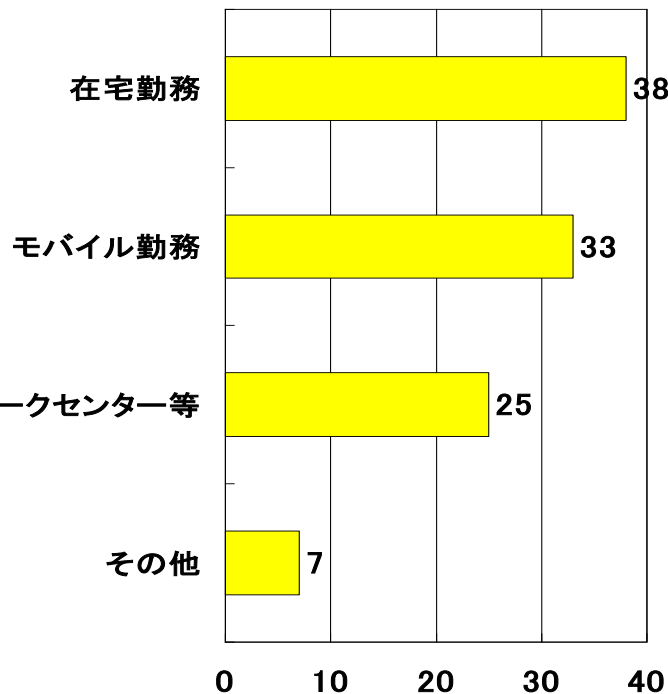
- 回答者の86%はテレワークを認められている。
- テレワークセンター等での勤務が認められていない理由は情報セキュリティが多い。

テレワークが認められていますか？



n=51

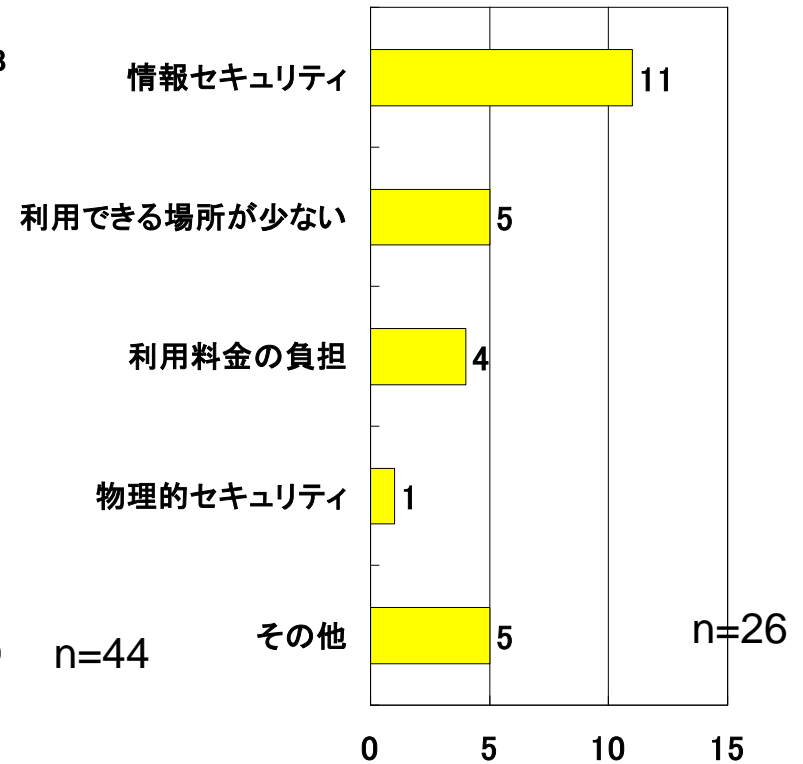
認められている働き方は？



n=44

- その他
- ・自社の他拠点(2)
 - ・電子メールの事業場外利用
 - ・トライアル(2)
 - ・自営業で何でもあり

テレワークセンター等での勤務が認められていない理由



n=26

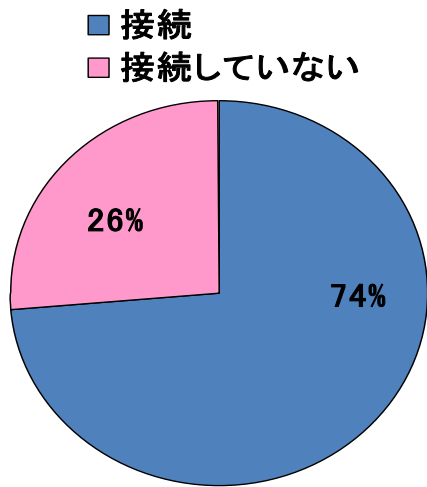
- その他
- ・トライアルとしては実施可能
 - ・人事制度上の観点から
 - ・制度が整備されていない(2)
 - ・不明

23

テレワークセンターでのネットワークの利用

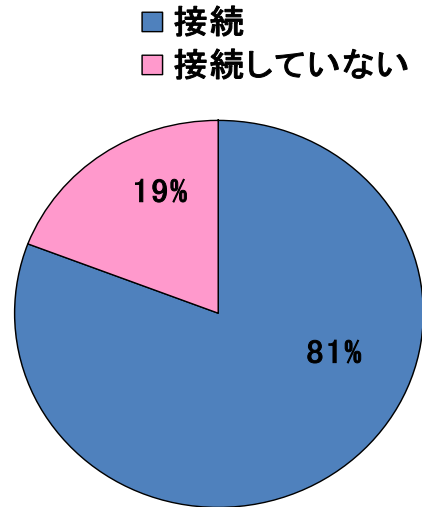
- オフィスのサーバー・PCにアクセスに接続した人は74%、そのうちVPN接続した人は81%。
- 電子メール、PC上のアプリ、社内ネットアクセス、情報収集が主な作業内容。

オフィスのサーバー・PC
に接続しましたか？



N=57

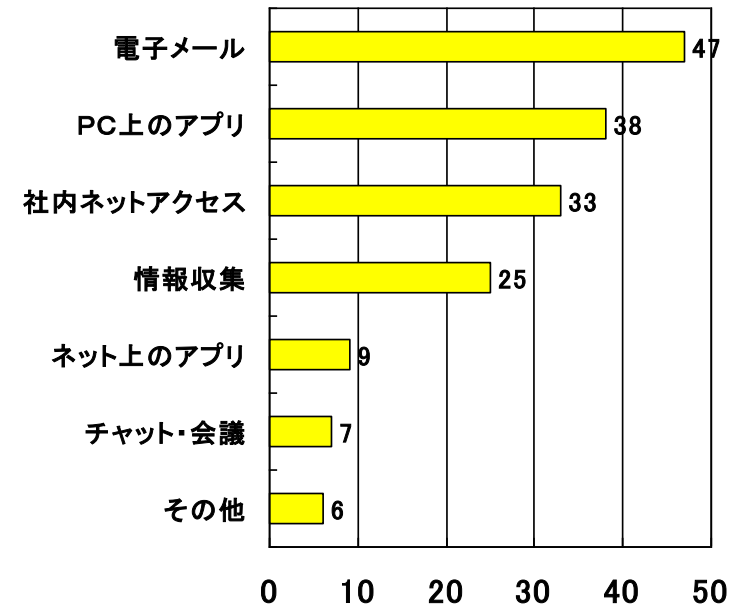
VPN接続しましたか？



N=42

PCでの主な作業は？

N=55

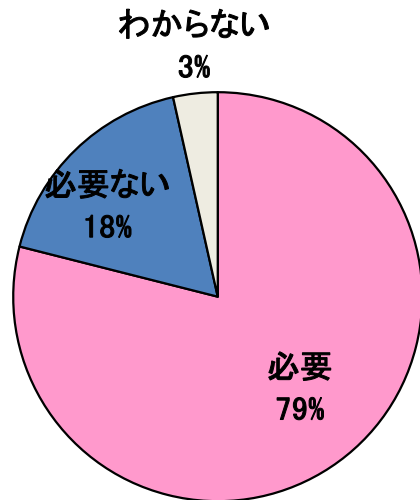


複数回答

テレワークセンターの必要性

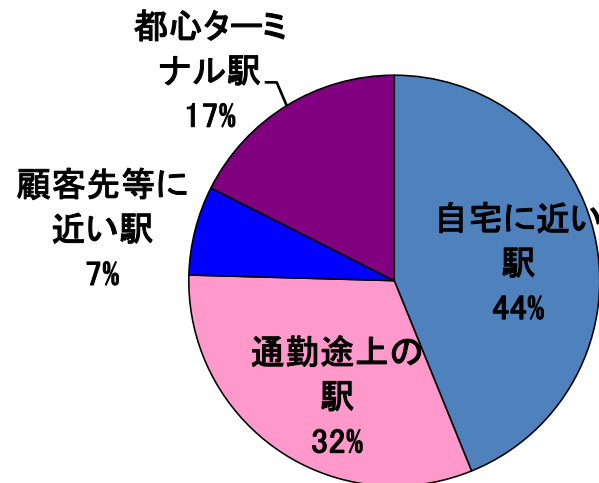
- 78%の人がテレワークセンターの必要性を認識。
- 望ましい立地として「自宅近く」と「通勤途上の駅近く」を合わせると、75%。
- 駅からの移動時間は5分以内なら許容する人が59%。

必要と思いますか？



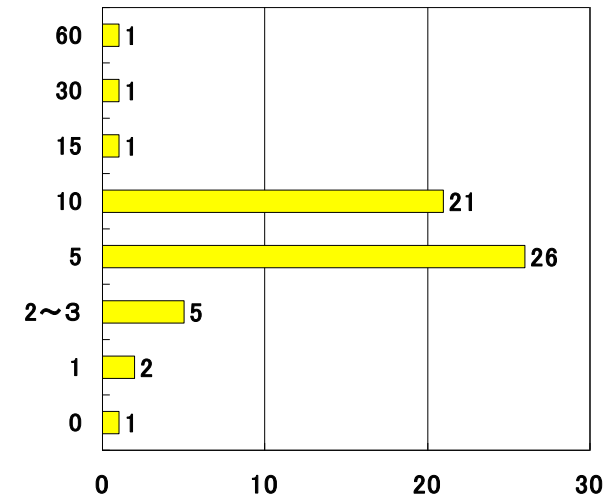
N=57

どのような駅の
近くが適当？



N=57

駅から徒歩で何分まで許容？

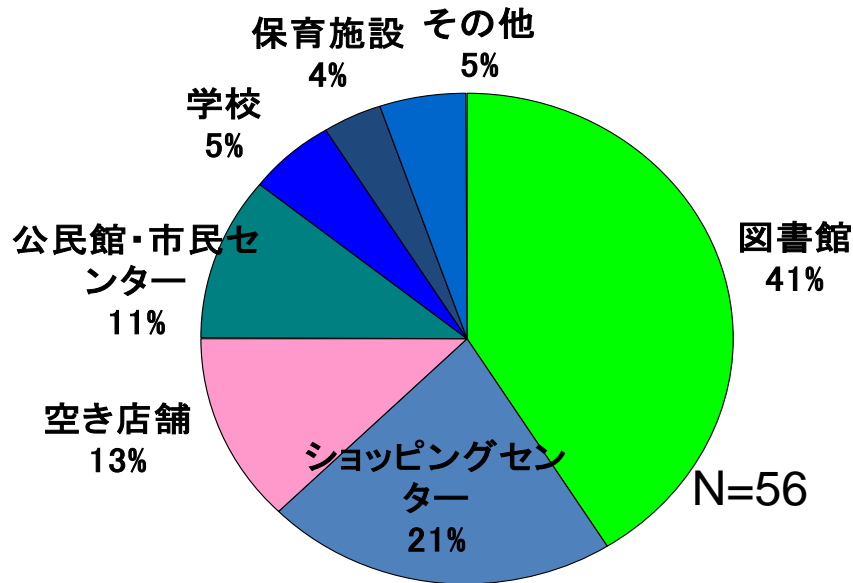


N=58

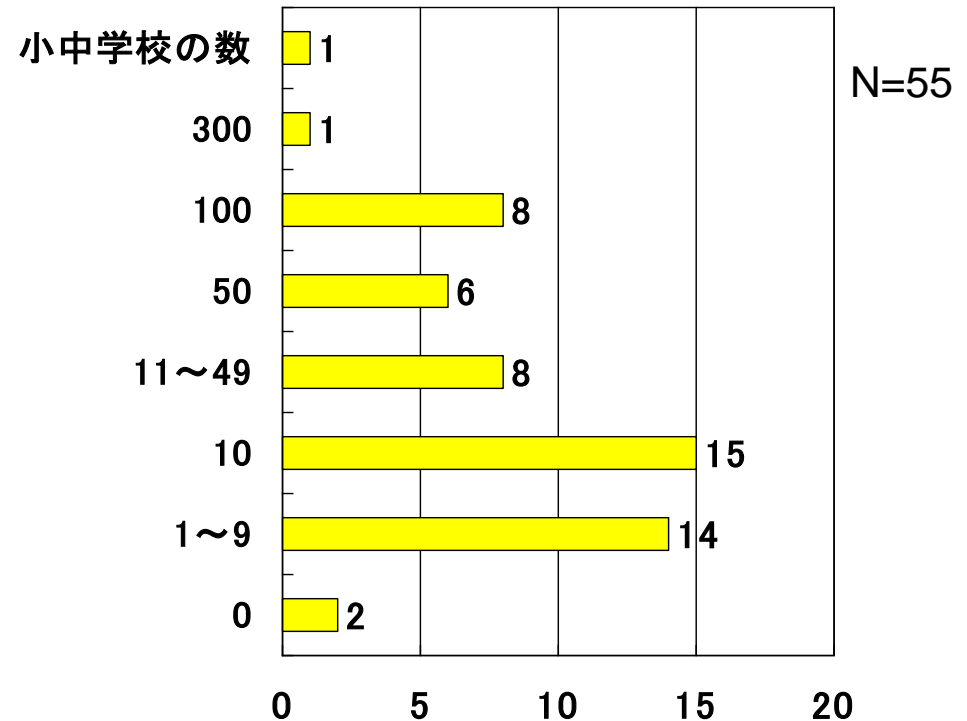
テレワークセンターの場所

- テレワークセンターの併設施設として図書館を選ぶ人が41%と最多。
- 首都圏でのテレワークセンター数は10箇所以上を望む人が69%。

併設施設として最も適当な施設



首都圏でのセンターの数



- ・広告収入が見込める場所なら何箇所でも
 - ・郊外型は難しく、徒に多く作るべきでない
 - ・できるだけ多く
 - ・全ての急行停車駅に
- 26

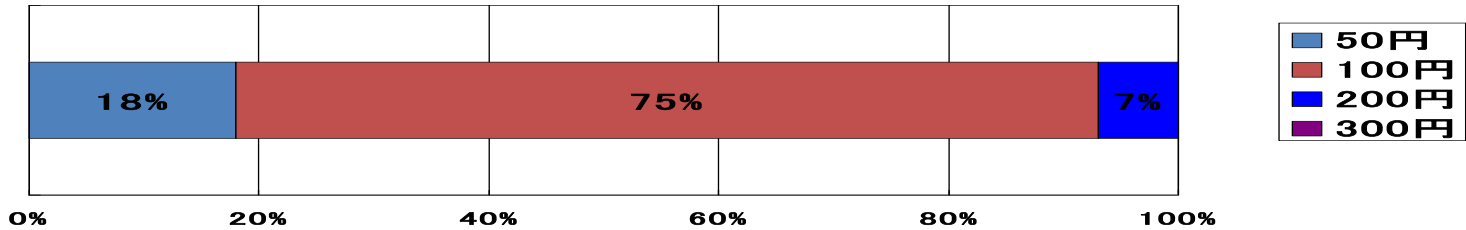
料金水準

- 時間単位では100円を望む人が75%、一日では1000円を望む人が46%と多い。

時間単位

1時間

N=28

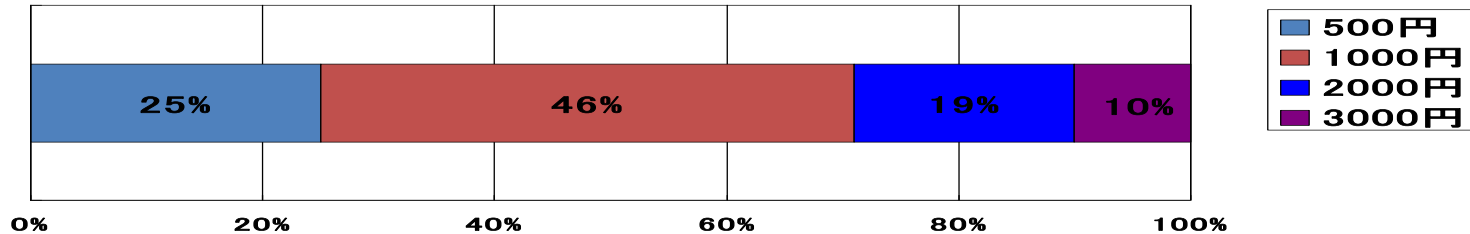


その他(5): ・150円(1) ・500円(3) ・時間単位では難しい

1日単位

1日

N=52

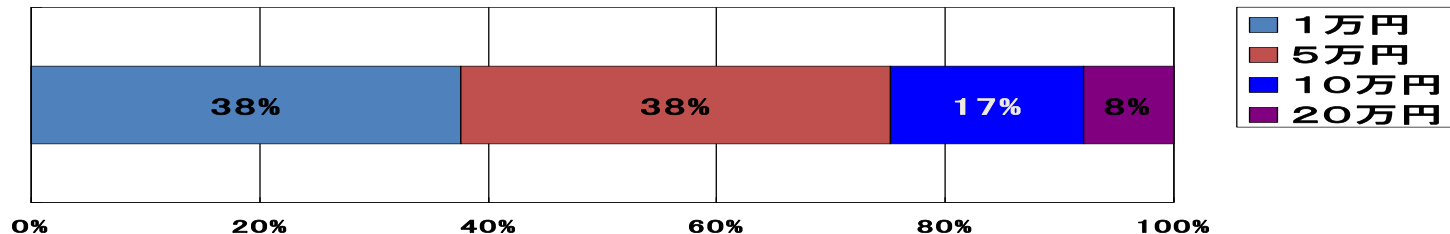


その他(4): ・2-300円 ・1000円以内 ・1500円 ・4000円

年契約

1年

N=53



その他(3): ・利用者数に応じた料金で
・広告料金をとることで無料も可能か

自由意見

- ・環境は良好。料金設定の場合は、気軽使える価格に。
- ・会話(電話)が規制されているので不便。
- ・業務の殆どをWeb上で行っているので、こうした施設が普及してほしい。
- ・地域の人同士が交流できる機能や環境を。
- ・自営業では郵便物を受け取れると便利。・図書館や公民館にあるといい。
- ・室内運動場、プール、娯楽室の近くなど ・外環状の沿線駅
- ・今回は利用者が少ないのでデータの信用性が薄いのでは。
- ・普及啓発にはビジュアル的なインパクトが必要。・駅構内にあるといい。
- ・育児に関わりたいという男性社員の声をきく。自宅近くでこうした施設があるといい。
- ・TV会議ができるといい。 ・都心でオープンカウンター形式がいい。
- ・雇用型ワーカー用のセンターは一定規模以上でないと効果薄。
- ・他自治体への参考に、いくつかのモデルを提示できるといい。
- ・図書館、市民センターのような場所で無料で多数の人が使えるように。

まとめ

1. 立地場所

- ・自宅近くの駅または通勤途上の駅付近を希望する人が多い。
- ・駅からTWCまでの道順の分かりやすさや、所要時間の短さも重要との声がある。

2. 執務環境

- ・施錠ができる、画面を覗き見されないなどの物理的セキュリティの確保が重要という意見が多い。

3. 通信環境

- ・利用者の多くがVPNによりオフィスのサーバやPCに接続。
- ・一方PCの社外持ち出し禁止のため、実証実験に参加できない企業も複数みられた。
- ・備え付けPCなどの情報機器も必要との声があった。
今回利用することのできなかつた企業などにヒアリングを実施し、今後の利用の可能性等について確認する予定。